

三宅島の現状（その11）

平成13年 7月25日

現地災害対策本部(神津島)

【島の現状】

例年より早く梅雨が開け、この2週間は三宅島でもよい天気が続き、暑い日々が続きました。

この間、新たな泥流による被害の発生もなく、復旧作業は順調に進みました。

7月11日から13日にかけては、泥流被害等に遭った島民68名の方々の一時帰宅が実施されました。

火山ガスは依然として非常に多い状態ですが、このガスを除去する装置を備えたクリーンハウスが三宅支庁、三宅村役場、勤労福祉会館で開設されており、最近では、防災機関の職員や工事関係者など合わせて50名程度が夜間滞在しています。7月18日には給食センターが開業し、夜間滞在者も朝、昼、晩の食事に不自由することなく過ごしています。

なお、医師1名、看護婦等1～2名が三宅島に滞在し、現在は、村役場で診療にあたっています。

【火山活動】

4月に入ってから何度か振幅の大きな火山性微動が発生していますが、7月16日および18日の火山性微動では神着で震度1を観測しました。その後は大きな変化はない状況です。

火山ガスについては、気象庁による7月23日の測定では日量1万3千トンと非常に多い状態が続いています。このところ南西方面の風により北東部の三七沢付近や東部の村役場付近で二酸化硫黄の濃度が高くなることが多く、5ppmを超える日もみられました。

【復旧作業】

はまゆう丸とえびね丸で、およそ300名の人員が連日渡島し、復旧作業に従事しています。作業の方々は、熱中症にかからないよう注意しながら作業を行っており、真夏の暑さに負けずに頑張っています。

道路工事では、空栗橋の仮橋の下部工事等を進めているほか、完成した立根、芦穴及び仏沢の仮橋の取り付け道路の舗装工事等を実施しています。

砂防工事は、梅雨に備えての土のう積みなどを完了しましたが、幸いにも雨が少ないこともあり、新たな被害はみられません。三七沢や川田沢などでは砂防ダムの工事を進め、ダムの基礎のコンクリートを打つところまでできています。ほかの箇所でも、ブロック積みや工事用道路の建設や既設ダムの土砂取り作業を進めています。

また、山腹の緑化により土砂流出防止を目的として、ヘリコプターによる牧草の種まきを、立根沢、角屋敷沢上流の村営牧場から河口付近までの約35haで実施しました。作業は6月2日から開始し、火山ガスや濃霧等で苦労しましたが、7月中旬に作業を完了しました。7月4、5日に行った調査では、最初に蒔いた箇所が発芽が確認された一方、6月下旬以降の実施箇所はまだ発芽の確認ができず、緑化の度合いや土砂への影響はわかりませんでした。引き続き調査を実施していきます。

水道の復旧は、大路水源から西回りで復旧を進め、三宅支庁や勤労福祉会館まで通水しました。保健所による水質検査の結果は適合であり、間もなく村（水道管理者）が許可を出す予定です。

NTTグループでは、三宅支庁舎および泥流監視装置の通信回線の開設工事を実施するとともに、携帯電話については三宅支庁舎を中心とするサービスエリアを確立しました。現在は、警察関係ならびに気象庁の計測機器等、通信サービスの復旧に向け取り組んでいます。

東京電力では、島内電力需要増に対応するために日中は1,000KW発電を実施していますが、8月上旬に発電所の夜間滞在が可能となるまで、夜間は遠隔操作可能な500KWの発電機に切り替えています。それまでの間は節電をお願いしています。また、送電に関わる維持作業や移設工事などを進めています。

【就労案内】

村役場では就労情報を提供し広報しておりますので、就労を希望される方は三宅村村民課相談係（代表03-5321-1111 内線45-640）にご相談ください。

なお、直近の情報は、ホームページ「三宅島を離れた村民のみなさま」をご覧ください。
(アドレス <http://www.miyakemura.com>)

お問い合わせ先 三宅支庁総務課行政係 電話：03-5320-7854
--

三宅島「げんき農場」で働いていただく方の募集 (三宅島特産農産物種苗等の栽培・保全事業)

三宅島から避難されている島民の方々に、八王子市宇津木町で島の特産農産物等を生産し、帰島後の速やかな営農の再開を行っていただくために、三宅島「げんき農場」で働く方を下記のとおり募集いたします。

記

1 応募資格

三宅島から避難されている島民の方で、農作業の出来る健康な方、なお、前期(4月から9月まで)働いた方は応募出来ません。

2 募集期間

- ① 募集期間 平成13年8月1日(水)から同31日(金)まで
- ② 採用通知 9月上旬(採用・不採用にかかわらず郵便等により連絡)

3 勤務地

八王子市宇津木町236-1外(都立小宮公園北側)

なお、勤務にあたっては、最寄り駅(JR八王子駅、京王線京王八王子駅)近くの都立産業技術研究所八王子庁舎からシャトルバスにて送迎いたします。

4 勤務条件

- ① 勤務内容 島の特産農産物等の栽培・収穫(軽作業)
- ② 勤務期間 平成13年10月2日から平成14年3月29日まで
- ③ 勤務日数 月12日程度
- ④ 賃金 6,280円/日・税込み(交通費は実費支給)
- ⑤ 募集人員 50名程度
- ⑥ その他 採用者の中から、ご本人の承諾のもとに、別途勤務条件にて作業班長を5名程度選任いたします。

5 問い合わせ先

三宅村新宿総合事務所産業観光課

電話 (代)03-5321-1111(内線)45-660
(直)03-5320-7829

(財)東京都農林水産振興財団

電話 (代)042-528-0505

6 応募方法

- 官製はがきにて、①現住所、②三宅村住所、③氏名、④年齢、⑤性別
⑥電話番号、を記入のうえ、下記住所に応募してください。(8月31日消印有効)

〒190-0022 立川市錦町2-6-5 立川三恵ビル3F

(財)東京都農林水産振興財団 げんき農場担当 久保田

平成13年 8月 1日
東京都 三宅村

平成13年度ミス三宅の募集について

盛夏の候、皆さま方には益々御清栄にこととお喜び申し上げます。

早いもので、全島民の島外避難も10ヶ月を超えましたが、お元気でがんばっておられることと存じます。

さて、三宅村では、避難生活が長期化する現状であっても、「ミス三宅事業」を再開し、一つでも「明るい話題」を持ちたいとして、下記の通り募集いたします。

皆さま方の身近な知人などで平成13年度「ミス三宅」にふさわしい人をご推薦下さい。

記

1. 応募資格・条件

三宅島に在住・在勤または出身者で健康・明朗な18歳以上30歳未満（平成13年10月1日現在）の未婚女性で、任期中の1年間、三宅村の友好町村との親善交流及び島内外の観光行事などに積極的に参加して活動できる方。（行事は、年間約15回）

2. 申し込み方法

応募者は、所定の申し込み用紙に必要事項を記入し、下記の申し込み先へ郵送してください。（自薦・他薦を問いません。）

<申し込み先>

〒163-8001

東京都新宿区西新宿2-8-1 都庁第1庁舎南41階

三宅村新宿総合事務所産業観光課内ミス三宅選考委員会事務局まで

TEL 03-5320-7829 担当：千葉・島澤

3. 賞 金

¥500,000-

4. 副 賞

東京都三宅支庁長賞・三宅島観光協会長賞・三宅村商工会長賞

三宅島母の会会長賞・東京三宅島ライオンズ会長賞

三宅村商工会青年部部長賞

5. 募 集 期 間

平成13年 8月 1日（水）～平成13年 8月15日（水）

平成13年7月25日発行
会報第76号

会員数 345名
男性 133名
女性 212名

シルバー みやげ

編集・発行

社団法人三宅村シルバー人材センター
東京都千代田区飯田橋3-10-3
シニアワーク東京2階
TEL; 03-3239-4343
FAX; 03-3512-3477

一、風通しの良い服を着ま
しょう。強い日光を直接肌
や頭にあてないように注意し
てください。

熱中症

予防と応急処置

★予防対策
は意識障害な
どの症状が現
れます。

★熱中症とは
長時間、高
熱、直射日光
を浴びて起こ
る体調の変化
ですが、大量
の汗をかいて
体内の水分や
塩分が失われ
脱水に陥った
状態で起こる
状態です。

例年より十日以上も早く梅雨が明け、連日の猛暑に屋
外で働いている会員の皆さんは、大変ご苦労されている
と思います。最近、テレビや新聞では熱中症による事故
が毎日のように報道されています。
都会の炎天とアスファルトの照り返しを初めて経験す
る皆さんには、熱中症が大敵になります。
そこで今回は、東京都島嶼保健所三宅出張所の小杉保
健婦さんに、熱中症の予防について伺いました。適切な
予防を心がけ、暑い夏を上手に乗り切りましょう。

- ① 木陰など、涼しい風通
しの良い所に寝かせると
くして寝かせる。頭を高
くして寝かせる。
- ② 衣服をゆるめ、頭を高
くして寝かせる。
- ③ ぬれたタオルでふくな
どして全身を冷やす。特
に頭を冷やす。
- ④ スポーティ水分を与える。
冷たい水分を冷やす。

- 二、水分と塩分を十分補給
しましょう。汗をかくよう
な状況での作業時には、こ
まめに水分を補給する。
三、適度な休息をとる。そ
の日の天候や体力、体調に
よってどのくらい作業を
続けられるか、一概には言
えないが、定期的に休息を
とることは非常に大切なこ
とです。
- 四、無理をしない、させな
い。体調のすぐれないとき
や、途中から具合が悪くな
った時には、無理をしない
事が大切です。日頃から食
事や睡眠に気をつけよう。

- ① 就業場所での危険要素
の点検
II 足元、手元、周囲
の安全確認、危険場所への
接近防止、誤動作による墜
落・転落事故の防止に努め
ましょう。
- ② 段差・障害物等による
転倒の防止
II 足元の段差に
気付かず、足を踏み外して
しまったりして、転倒する
事故が以外と多いので、足
元には十分気をつけましょ
う。
- ③ 就業途上での事故防止
II 自宅から働く場所までの
途上、仕事から帰りの事故
が大変多く、特に、横断歩
道を渡る際には、左右の

塩水が良い。
☆吐き気、意識障害、体温
の上昇が見られる時は、
救急車を呼ぶなどの措置
をとる。

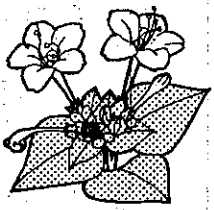
安全就業強化月間（七月）

安全で 暮らしを 豊かに する

昨年の七月十二日、地震で揺れる最中に安全就業強化
月間の一環として、刈り払い機の操作講習会を開催した
のを覚えていますか。あれから丁度一年、今年は避難先
で強化月間を迎えることになりました。慣れない都会で
の就業には、思わぬところに事故の落とし穴があります。
これを機会に、安全に対する意識を高めて、事故を未然
に防止するようお互いに注意し合いましょ。

今年の重点項目

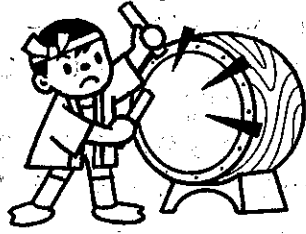
- ① 就業場所での危険要素
の点検
II 足元、手元、周囲
の安全確認、危険場所への
接近防止、誤動作による墜
落・転落事故の防止に努め
ましょう。
- ② 段差・障害物等による
転倒の防止
II 足元の段差に
気付かず、足を踏み外して
しまったりして、転倒する
事故が以外と多いので、足
元には十分気をつけましょ
う。
- ③ 就業途上での事故防止
II 自宅から働く場所までの
途上、仕事から帰りの事故
が大変多く、特に、横断歩
道を渡る際には、左右の
- ④ 安全確認を徹底するよう心
がけましょ。
- ⑤ 安全保護具（安全帽・
安全帯など）の着用の徹底
II 毎日十分注意していたつ
もりでも、いつ頭に物が落
てきたり、
足を踏み外
して転落す
るか分かり
ません。
ちよつと
した油断が大きな災害をも
たらします。
安全用具を着けていてよ
かつたと言えらるるに、面
倒でも安全保護用具は必ず
つけるように心がけ、安全
で楽しく就業したいもので
すね。



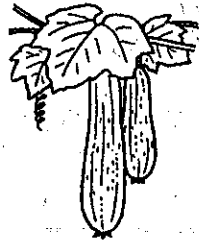
伝言板

● 八月十日 (金) 振り込みます。
● 九月十日 (月)
● 十月十二日 (金)

配分金はあなたの口座に



広場



投稿歓迎

皆様のご意見やお便りをお待ちしています。詩歌やエッセイなど大歓迎、ご投稿下さい。

三宅村シルバー ホームページ・アドレス
<http://www.sjc.ne.jp/miyake/index.htm>
 E-mail) =miyakesc@tokyosilver.or.jp

立川支所便り

立川支所では、去る六月十七日から七月七日の間、二つのグループに分けてそれぞれ三日間のパソコン基礎講習会を開催しました。基礎講習会の中には七十六歳の参加者もいて、二回とも定員一杯。基礎講座ということで、第一日は電源の入れ方から始まり、第二日は文書作成ソフト「ワード」による長い文章や記号等の入力、パソコンのエクセルを使ってグラフや表を作成しました。今回は初めてパソコンに触れた方も、何度か触れた事はある方が殆どでしたが、二日目には皆さんが文章を入力できるようになりました。

支所の鈴木・沖山両先生は「正直なところ、こんなに早く上達するとは思っていませんでした。やる気と姿勢から立ち向かおうとする関係ないというのを改め、思い知らされた。年齢は「習うより慣れろ」と、まさにその通りだと思いま

す。どうぞ怖がらず、遊びがてら来所いただき、是非パソコンに触れてみて下さい。立川支所には、二人の先生が常駐しています。この教室を開きますので、是非参加して下さい。

島を離れて十ヶ月が経過し、元気に働いています。今月号から、お世話になつてい

京浜急行・雑色駅の近く、会員の菅波玲子さんがお世話になつていて、ときわ給食センターが約五十人、週辺企業等への給食弁当のデリバリー、学校や官庁関係の食堂を手広く経営して、給食業界屈指の会社として、今後の発展が期待されています。

大変造詣が深いとお見受けした鈴木社長さんは「三宅から避難している皆さんの苦勞は、他人ごとではありませぬ。自分たちもいつ同じような災害に逢うか分からないのです。明日は我が身、今出来ることをしてあげるのは当然です。」と笑顔で話してくれました。

一方、ここで働き始めて八ヶ月になる菅波さんは、「始めの内はみんなについていけなくて、やめようと思った事もありました。でも、社長さんや奥さん、それに会社の人が奥さん、それ以外の人は、いつも声をかけてくれます。テレビや新聞、島を見ては、島の様子を話してみたりしています。難しい事もあるけれど、仲間の皆さんの心遣い、感謝している様子が、月間という長期就業は、波さんという一人です。島の社の人と仲良く、島に帰る日まで頑張ってください。

働いています

①

計報
 ★木元金吾さん(六八歳)
 ★曾我部正さん(六七歳)
 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

月	区分	受託件数	就業延日人員	契約金額			
				配分金	材料費	事務費	計
5	公共	1	72	267,100	0	10,800	277,900
	民間	6	43	211,988	0	1,080	213,068
	計	7	115	479,088	0	11,880	490,968
累計	公共	2	136	504,600	0	20,400	525,000
	民間	9	133	819,294	0	19,784	839,078
	合計	11	269	1,323,894	0	40,184	1,364,078

★入会しました。よるしく
 田中金次郎 鈴木美知江
 田中玉子 菊池トミ
 沼田文子 坂田リツ
 田中良子 田中守節
 笹本容子 前田モトエ
 井口全子 壬生重子
 稲葉美保子 星野芳太郎
 田中鈴子 藤沼正樹
 ★退会しました。ご苦勞さまでした。
 寺田静子 前田田愈

持丸様からの手紙

持丸 敬己様から

三宅島出身で埼玉県戸田市在住の持丸敬己様から「三宅島げんき農場の皆さんへ」という次の励ましの手紙（下記の要旨）とドラム缶10本が届けられました。

暑中御見舞申し上げます。

災害の起るたびに自然の猛威に比べ、いかに人間の無力さを知らされ、無念という以外に言葉がありません。ただその度に被災された皆様が、その逆境に怯まず敢然と立ち向かっていく姿には、ただ、ただ敬服させられます。

さて、今年の夏の異常乾燥を知り、知人の協力を得てドラム缶10ケをお届けいたしますので水を貯めるのに役立てて下さい。

三宅島の将来のことを考えるとき余りにも大きい問題が山積していますが、皆様には必ずこの困難を克服する勇気と力を持っていると信じています。

先づは取急ぎ、皆様の御健康を心からお祈り申し上げご挨拶と致します。 敬 白

平成13年7月 持丸 敬己 拝

「げんき農場」をたずねて

東京都経済事務所より3名の方が当農場を訪ねられ、次のとおり来場した感想をいただきました。

今年の夏はことのほか暑く、特に八王子市は最高気温を記録しているとのこと。このような暑さの中、かなり広い面積をきれいに管理されていたのには驚きました。また、作業されている方々も年齢が高い人が多く、その体力には感心させられました。

三宅島特産の赤芽芋やアシタバも元気に育っていました。雨が降らない中、近くの畳屋さんから畳表をもらって畑に被覆したり、雑用水の提供を受けたり、水を貯めるドラム缶を頂くなどして、渇水対策を講じているとのことですが、この農場が様々な人に支えられているのわかりました。炎天下での水やりは大変な労働です。しかし、このような皆さんの汗がきっと秋の恵みをもたらすものと思います。

事務所の入り口に書かれていた「早く島に帰りたい」との三宅島の皆さんの願いが早くかなうようお祈りしています。

激励のつもりが、逆に私達に感動を与えて下さって、ありがとうございました。

みんなの声

(場員の「意見投書箱」から聞こえた声です。)

- ・げんき農場で働けるのもあと2ヶ月、今から次の仕事の心配をしています。農場は楽しいので後期も続けて働きたいです。

「げんき農場」の後期における雇用について

三宅島「げんき農場」で働く人達の採用は、「I期(4~9月まで)とII期(10~3月まで)」に分けて行い、二期にまたがった重複雇用は出来ない事になっております。

従って、I期目の採用期間は9月いっぱいとなりますので、10月以降に働く人達を募集するための準備を進めております。

勤務条件などはI期目と同様ですが、詳しくは、別紙募集のご案内をご覧ください。

第 3 号

三宅島「げんき農場」だより

平成13年8月1日発行

発行元三宅島げんき農場

八王子市宇津木町 236-1

TEL 0426-27-4355

○高温・乾燥の猛威と向き合う

7月上旬の『げんき農場』周辺の最高気温は平年より高く、気象庁は、7月11日には関東甲信越地方の梅雨明けを発表しました。これは平年よりも9日、昨年より5日早まっています。こうした中で、げんき農場では様々な干ばつ対策を行っています。

八王子の降水量と気温の推移(東京管区気象台・地域気象観測旬報より抜粋)

	降水量mm (平年比%)	平均(平年差)	気温℃	
			最高(平年差)	最低(平年差)
6月上旬	22 (54)	20.9 (+0.6)	25.7 (+0.9)	16.8 (+0.9)
6月中旬	71 (105)	20.8 (-0.0)	24.7 (-0.3)	17.3 (+0.1)
6月下旬	5 (6)	23.7 (+2.4)	27.4 (+2.6)	20.6 (+2.4)
7月上旬	0 (0)	26.7 (+3.4)	32.1 (+4.7)	22.0 (+2.3)

表で示すとおり、農場のある八王子の観測点では6月下旬以降乾燥と高温傾向が続き、梅雨明け発表前から、すでに“カラ梅雨”状態であったことがうかがえます。

農場でも、2面あるアシタバ畑の1圃場のほとんどが枯死し、サトイモやエダマメの生育も悪くなり、スイカやメロンも玉伸びが劣るなどの問題が生じました。農場ではこれらに対して、①敷き草の実施②マルチや寒冷紗等の被覆資材の活用③灌水の実施等に対応するほか、場員にも健康面に配慮して、こまめな休養と水分補給等と呼びかけてきました。このうち、敷き草は場内で刈り取られた牧草が大変役に立ちました。また、道路公団からは雑用水の供給、近隣の畳屋さんからは使い古しの畳表の提供、更に三宅島関係者が経営する事業所からドラム缶の寄贈など、各所からの応援と励ましをいただきました。書面をお借りし、御礼申し上げます。

これらの甲斐もあって、アシタバの残りの1圃場は何とか持ちこたえそうで、サトイモ、スイカ、メロン等も徐々に元気を取り戻しつつあります。特産の赤芽イモも島産にはかなわないものの、道行く人からは「立派なイモなので、分けてもらえないか。」とのウレシイ?要望も寄せられています。





「雨ニモ負ケズ」

筑波 八重（八王子市南大沢在住：坪田）

私にとって避難以来げんき農場は、避難後の四つ目の仕事場になります。私は友達に恵まれて、本当に幸せだと思っています。東京にきて困ったことは、自分では、電車の切符を買うことが出来ず、友達に迷惑をかけたことでした。私のできることが何かないかと考えても何もありません。ただ、毎日毎日楽しく働かせてもらっていることに、感謝しています。一緒に働い

ているげんき農場の皆様、三宅島へ帰る日まで頑張りましょう。世の中には、どんなにか苦しい毎日を送っている人もいます。お金では買えないものも沢山あります。私は辛くなると宮沢賢治の「雨ニモ負ケズ」を口ずさみ、心の支えにして頑張っています。

私の思いのままを短歌にしてみました。

- ・私のふるさと 月日のたつごと 思い出す けむりおさまれ 三宅島
- ・朝日あがる 三宅島 噴火のあとは 島ひくし
- ・三宅島 暑さ知らず いその風
- ・夏が来た 海につかる 三宅島
- ・テレビ見て 泥流の怖さ 言葉なし



「同郷人の支え」

奥山 彦一農場長（八王子市上柚木在住：坪田）

六月初旬「げんき農場」に初老の紳士が来場し、旧知の笑顔で「持丸です、この度の噴火災害は大変ですね。」とのご挨拶。誰であったか思い出せない。しかし、身内のような親しさで話しかけて来られるので、失礼があつてはいけないと思い、「持丸さんとはもしかして、三宅村産業課長で敏腕を振るわれた、持丸教能氏の兄弟かな？」と聞きますと、「弟です。」と返事。や

っと相手の身元が解り、色々なお話をする中で、「現在、埼玉県で建設関係請負業をやっている、何か手伝う事があつたら何なりと電話をくれ。」と言って帰られました。それから一ヶ月半、カラ梅雨で灌水が必要となり、その作業に使う容器が無い。思案の末、持丸さんの残した言葉を思い出し、「ドラム缶はないか？」と照会したところ、即刻返事の電話があり、「ドラム缶10本位なら何とかなる。」との回答。翌朝出勤したところ、農場の庭に 並んだ10本のドラム缶には場員一同驚き、同郷人の心意気と温かさ感謝しました。



「一時帰島」

宮澤 求（武蔵村山市緑が丘在住：阿古）

7月12日（木）21時「はまゆう丸」にて、竹芝から出発し一路三宅島へ。13日朝5時頃になっても、入港地は三池港か錆ヶ浜港か未決定でした。それで船上に出てみたら、待ちに待ったなつかしい三宅島が眼前に見え、島の緑が朝日に眩く映えて美しくきれいでした。しかし、南西の風によって雄山からサタド一岬の海上に「ガス」が漂い、三池港が見えないほど、くすぶって見えました。これでは、『とても島に帰る日

は、先がみえないなァー』と感じました。梅雨が明けないので、雄山山頂は見えず、雲が雄山をふさいでいましたが、むくむくと噴煙がまるくゆるやかに上っていました。そのうちに入港地は「錆ヶ浜港」に決定し、「ミノワ」沖から一路錆ヶ浜港に向かいました。中腹から海岸沿いは、緑一色「トビ魚」が飛ぶ、『島はやはりいいなァー』と思ったとたんに、胸がいっぱいになり、涙がポロリと出てきました。6時に三宅島錆ヶ浜港に入港上陸しました。10ヶ月ぶりに島にきて元気が出ました。帰島島民は9班に別れましたが、私は3班に所属してバスに乗り、一路都道を通り自宅近くで下車、警察の鑑識課職員など3名で自宅に向かいました。南側の台所の窓から中を見たところ、電話が置いてあるところの、4つの引出しが引き抜かれてあつて、あっちこちに小銭が飛び散っていました。玄関のカギを開けて中に入ると、家の中は臭みも湿気もなく、家財・衣類・布団・畳なども大丈夫でひと安心。台所のまわりには、「ネズミ」の糞がアチコチに散らばっていました。冷蔵庫の中身は、ほとんど臭いもなく、引出の中に水がたまっていました。全島民の皆さんの一時帰島の時には、「ネズミ薬」とタンスの中に入れる、衣類防虫剤の「ナフタリン類」を持参したら良いと思います。家の中に湿気がなかったのは、地熱のあるせいかなと思いました。10ヶ月も家の中を閉めつけて風も入らないのに、人が住んでいる様な感じでした。里芋も元気に育っていました。庭の植木に花がからんで咲き、降灰は雨によって流されたためか、都道・家のまわりもきれいになっていました。乗船時間が迫ってきたので、家にカギをかけ、「雄山様、皆が島に戻れる日をまっている、おちついてね。」と言いながらバスに乗って棧橋に向かいました。11時半乗船し島に残っている入達と別れ、一路竹芝へ向いました。海上は静かで19時に竹芝に入港し解散しました。思っていたより被害も少なく、安心して帰宅できた一時帰島でした。

「島節（替歌）」

川口 藤子（武蔵村山市緑が丘在住：伊豆）

1. 三宅はなれてはや十月
想い出す度目に涙よ
2. 西も東もわからぬ土地で
情けうれしや村山よ
3. 一時帰島の知らせを受けて
心はずむよ我が胸の内
4. 全員そろって体操から
汗にまみれて働く農場
5. げんき農場で体をきたえ
三宅に帰る日をたのしみに



三宅島周辺海域での漁業活動について

平成13年7月9日
三宅支庁産業課

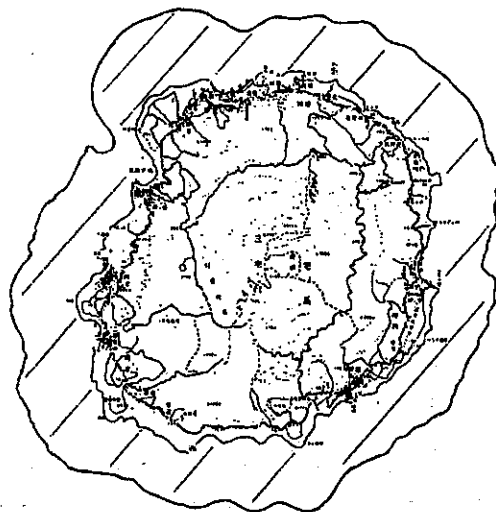
三宅島周辺海域は、三宅島の治安維持活動が行われており、また、火山活動は、全体としては低下傾向にあると考えられるものの、火山ガスの放出量は依然として高く危険な状態が続くものと考えられることから、漁業活動について次のように取り扱うこととしました。

- ① 平成13年6月29日付で東京都災害対策本部が一部修正した噴石、火砕流及び火山ガスの危険性を考慮したカテゴリー区分「C4」（三宅島の海岸から約1.5キロメートルの海域）で操業する場合は、「操業届出書」を東京都現地災害対策本部あて提出してください。
- ② 三宅島周辺海域で警備にあたっている海上保安庁、海上自衛隊の艦船等の指示に従ってください。
- ③ 航行及び操業中は漁業者自らの責任において危険を回避するよう十分注意してください。特に三宅島の風下での操業は、絶対に行わないでください。
- ④ 不慮の事故、天候の急変等により三宅島漁港（阿古漁港）へ緊急避難する必要がある場合は、東京都現地災害対策副本部長に入港の連絡を入れるとともにその指示に従ってください。

C4区域

三宅島

線は、三宅島の海岸から1.5キロメートルを示す。



*注意：操業にあたり、次のことを厳守して下さい。

火山ガスで、死亡することがありますので、十分注意し、風下での操業は、絶対に行わないで下さい。

1.0 0 1.0 2.0 3.0 km

三宅島漁協からのお知らせ

1 お盆の営業について

暑中お見舞い申し上げます。

皆様いかがお過ごしでしょうか。三宅島漁協では今年はお盆も休まず営業しておりますので、宜しくお願いします。

2 製氷供給補助事業について

(1) 事業内容

製氷使用量を従来のに増やし、漁獲物の鮮度保持に努めます。そして、三宅島産鮮魚の市場における魚価の向上と、漁家経営の安定を図ります。

(2) 対象者

現在、漁船漁業を行っている者。

(3) 対象期間

平成13年4月1日～平成14年3月31日

(4) 申請方法

各月の漁獲報告(仕切書)を三宅島漁協に報告して下さい。

何か不明な点などありましたら、漁協へお問い合わせ下さい。

3 住所の移転等について

三宅島漁協の組合員の方で転居またはお亡くなりになられた方についてはお手数ですが、下記宛ご一報下さるよう、お願いします。

☆ 三宅島漁協臨時東京事務所

【住所】 港区港南4-7-8(東京都漁連内)

【電話】 TEL 03-5783-2181

FAX 03-5783-2182

○ 三宅島漁協信用窓口

【住所】 同上(事務所内に移転)

【電話】 //